

## 通知表

本通知表は、English Language Proficiency Assessment (ELPA) で項目別に評価された生徒の能力を保護者の方のために要約したものです。生徒の英語能力の強みと弱点を把握しやすいように情報がまとめられており、保護者の方が生徒の学業の進捗について生徒の担任教諭と相談する際にも役立ちます。学校は ELPA の書面結果受理後、迅速に通知表を保護者の方に配布することが義務づけられています。

**セクション A** 通知表の題名、学年、評価周期、学区域名およびコード番号、学校名およびコード番号、教諭名およびクラス/グループコード番号。

**セクション B** 生徒の氏名および州特有の識別番号 (UIC)。

**セクション C** 総合点を水平帯グラフに表示した総合能力レベル表の解釈のしかたの説明。

**セクション D** 生徒の総合能力レベルを帯グラフに表示した総合能力レベル表。グラフは基礎 (B)、低中間 (LI)、高中間 (HI)、習熟 (P)、高度習熟 (AP) の五段階に分割されており、グラフを分割する縦線の下に各能力レベル域の尺度評点が表示されています。グラフ中の小さなひし形マークとその上の数字は生徒の総合尺度評点を示します。ひし形マークの両側に水平にのびた短い線は、統計誤差によって生じ得る幅値を示します。

**セクション E** 五段階に分けられた各能力レベルの説明。

**セクション F** 各領域における生徒の能力を示す領域能力レベル表の解釈のしかたの説明。

**セクション G** ELPA 各領域 (理解力を含む) の得点を表示した垂直線グラフ。それぞれの領域における生徒の能力を解釈するための基準となる領域別目標値もあわせて各グラフに表示されています。総合能力グラフと同様、ひし形マークの上下に垂直にのびた短い線は、統計誤差によって生じ得る幅値を示します。

このセクションには生徒の尺度評点の他に、領域ごとの満点と生徒の得点もそれぞれ表示されています。評価テストを受けなかった領域、もしくは採点に十分な数の回答がされなかった領域、または得点が記録されなかった領域については空欄になります。聞き取り力領域、読解力領域、またはその両方が空欄になっている場合は理解力の領域も空欄となります。空欄の領域が発生した場合は総合尺度評点および総合能力レベルも空欄となります。


各領域の尺度評点はそれぞれ二桁の数字、総合得点は三桁の数字で表示されていることにご留意ください。領域別に設定された目標値は表中「2012年境界点」の欄に表示されています。

生徒が2010年と2011年にELPA評価を受けていた場合、2010年尺度評点および2011年尺度評点の欄に各年の尺度評点と総合尺度評点が参考比較用に表示されます。生徒が2010年と2011年のELPA評価を受けなかった場合、または生徒の得点が記録されなかった場合にはこの欄は空欄となります。

通知表 (続き)

**セクション H** ミシガン州の教育省長から保護者に宛てた、生徒の ELPA 成績に関する文書。


通知表 (続き)



**MICHIGAN**  
Department of  
**Education**

学区名: テストディストリクト  
学区コード: 99999

**(A)** 通知表  
5年生 - レベル III  
2013年 春期




英語名: ティチャーホーム メリー  
クラス/グループ: 9999  
学校名: テストスクール  
学校コード: 99999

**(B)** 生徒氏名  
ウィリアム J. テストステュージェント  
UID: 9999999999

**(C)** **総合能力レベル** 英語能力評価テスト (ELPA) の全項目もしくは領域における生徒の能力を表す合計点。図表は基礎から高度習熟までの五段階の能力レベルに分割されている。各レベルの定義については下記枠内参照。図表中のひし形マークの上に生徒の総合能力の尺度評点が三桁の数字で表示されている。

**総合能力レベル**



基礎 (B) = 300-543 低中間 (LI) = 544-584 高中間 (HI) = 585-632 習熟 (P) = 633-652 高度習熟 (AP) = 653-801

**(D)** **能力レベル定義**

**高度習熟 (AP)** - 聞き取り、読解、文章、会話、理解力の分野において、該当する学年に対してミシガン州が定めた複雑な英語力を確実に理解し活用している。

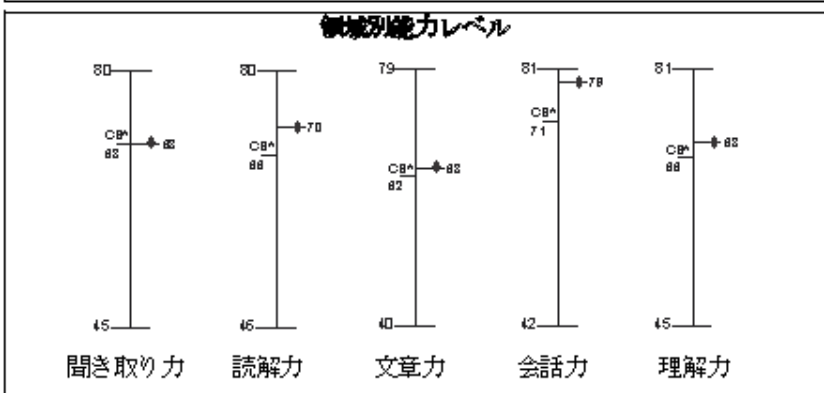
**習熟 (P)** - 聞き取り、読解、文章、会話、理解力の分野において、該当する学年に対してミシガン州が定めた英語力を十分または高度に習得している。

**高中間 (HI)** - 聞き取り、読解、文章、会話、理解力の分野において、該当する学年に対してミシガン州が定めた英語力をほぼ十分に習得またはほぼ習得完了している。

**低中間 (LI)** - 聞き取り、読解、文章、会話、理解力の分野において、該当する学年に対してミシガン州が定めた英語力を部分的に習得しているまたは習得途中である。

**基礎 (B)** - 聞き取り、読解、文章、会話、理解力の分野において、該当する学年に対してミシガン州が定めた英語力の習得が最小限または増進である。

**(E)** **領域別能力レベル**



聞き取り力    読解力    文章力    会話力    理解力

\* = 2012年度尺度評点    CB\* = 境界点 (習熟レベルに達する為の最低点)

領域	2011年 尺度評点	2012年 尺度評点	2013年 尺度評点	2012年 境界点*	得点/満点
聞き取り力	68	67	68	68	15/19
読解力	57	66	70	66	19/22
文章力	57	61	63	62	14/20
会話力	74	79	79	71	20/20
理解力	61	66	68	66	23/29

**(F)** グラフに続く表中の二桁の尺度評点が各領域における生徒の能力の測定結果を表す。習熟レベルに達する為の最低点が境界点となっており、尺度評点が境界点より高い領域は生徒が得意とする領域、尺度評点が境界点より低い領域は生徒の弱点となる領域であると判断できる。

**(G)** 本通知表の結果を生徒の英語学習の進捗の測定の一つととらえ、この通知表の結果を基に、来期の ELPA に臨むための指導および能力評価について生徒の担任教師と積極的にご相談ください。ELPA についてのさらに詳しい情報は <http://www.michigan.gov/elpa> をご覧ください。

2012年9月1日